

平成28年 3 月期第 2 四半期 決算説明資料

株式会社ユビキタス

代表取締役社長 佐野 勝大

© 2015 Ubiquitous Corporation. All rights reserved.

This presentation is for informational purposes only. Ubiquitous makes no warranties, express or implied, in this summary.



Ubiquitous

Agenda

- 第2四半期業績の概要
- セグメント・製品分野別動向

業績の概要

第2四半期（累計期間）の概況

計画よりやや上回り推移

- 売上高 前年同期比29.9%増
- 営業損失 106百万円

セグメント・分野別概況

- コネクティビティ事業
 - ・組込みネットワーク関連：既存顧客からの受託開発、新規車載機器案件のロイヤルティ等により収益獲得
 - ・サービス&ソリューション関連：スマートエネルギー関連顧客から受託開発及びロイヤルティ、dalchymiaの利用料等の収益獲得
- 組込みソフトウェア事業
 - ・データベース関連：既存顧客からのロイヤルティ売上獲得
 - ・高速起動関連：車載機器の顧客中心に受託、ロイヤルティ売上獲得

損益計算書

単位：百万円

	前 年 同 期	H28.3月期 第2四半期	前年同期比
売 上 高	314	408	29.9%
営 業 利 益	△193	△ 106	—
経 常 利 益	△191	△ 104	—
四 半 期 純 利 益	△190	△ 105	—

セグメント及び製品分野別の売上高進捗

単位：百万円

セグメント	分野	前年同期	H28.3月期 第2四半期	増減率
コネクティビティ 事業	組込みネットワーク	150	150	△0.5%
	サービス & ソリューション	29	80	172.9%
	小 計	180	230	27.8%
組込み ソフトウェア 事業	データベース	94	69	△26.5%
	高速起動	40	109	170.3%
	小 計	134	178	32.7%
合 計		314	408	29.9%

セグメント別売上及び利益

単位：百万円

		前 年 同 期	H28.3月期 第 2 四 半 期	増 減 額
コネクティビティ 事業	売 上 高	180	230	50
	セグメント利益	△172	△132	39
組込み ソフトウェア 事業	売 上 高	134	178	43
	セグメント利益	△20	26	47

貸借対照表（資産の部）

単位：百万円

	平成27年3月31日 (前期末)	平成27年9月30日 (当第2四半期末)	増減額
流動資産	1,755	2,827	1,071
現金及び預金	997	819	△177
売掛金	278	279	0
有価証券	399	1,699	1,299
その他	80	29	△51
固定資産	263	232	△31
資産合計	2,019	3,060	1,040

貸借対照表（負債・純資産の部）

単位：百万円

	平成27年3月31日 (前期末)	平成27年9月30日 (当第2四半期末)	増減額
負債合計	203	133	△70
流動負債	167	100	△67
固定負債	35	33	△2
純資産合計	1,816	2,927	1,110
資本金	758	1,373	614
資本剰余金	728	1,343	614
利益剰余金	260	155	△105
その他	69	55	△13
負債純資産合計	2,019	3,060	1,040

通期業績予想に対する進捗

単位：百万円

	通期 業績予想	第2四半期 実績	進捗率 (%)
売上高	1,150	408	35.5
営業利益	18	△106	—
経常利益	19	△104	—
純利益	16	△105	—

セグメント及び分野別 動向と取り組み

■ 分野概況

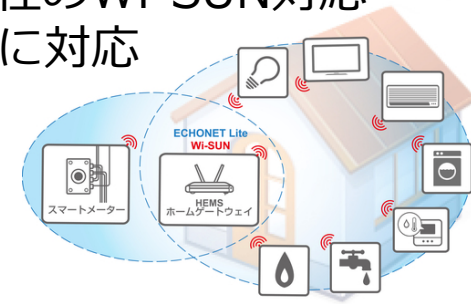
- デジタル家電、スマートホーム関連で既存顧客から「Ubiquitous Network Framework」、「Ubiquitous DLNA」、「Ubiquitous ECHONET Lite」、「Ubiquitous DTCP」関連製品などの受託開発売上を計上
- 「Ubiquitous Miracast™ Solution」の車載機器案件で搭載製品の出荷スタート、ロイヤルティ売上を計上

■ スマートホーム/エネルギー関連での協業強化

- 「Ubiquitous ECHONET Lite」がアットマークテクノ社のWi-SUN対応ゲートウェイ用ハードウェア「Armadillo-Box WS1」に対応

■ 今後に向けて

- IoT市場向けソリューションとなる技術、製品提供とパートナー協業を推進
- 車載機器向けのセキュリティソリューションなど新しい技術の製品対応加速
- 村田製作所社との協業推進を継続



サービス&ソリューション関連



■ 分野概況

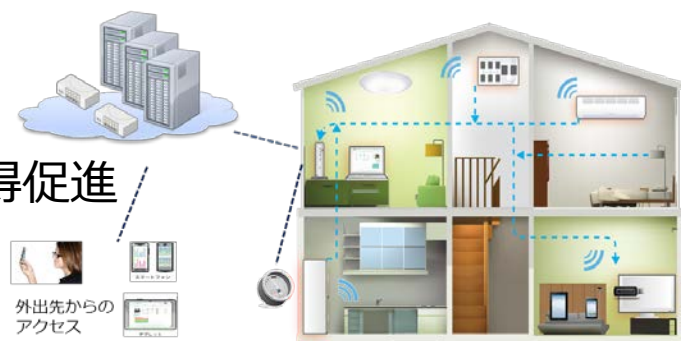
- 電力小売事業に参入予定の事業者とのスマートエネルギー関連案件でのロイヤルティ等の売上を計上
- 複数の事業者とHEMSソリューション関連の受託開発等の売上を計上

■ 楽天社とのエネルギー関連サービスにおける業務提携の基本合意

- エネルギー関連サービスをクラウドで提供する企業向けのプラットフォームの共同開発等を予定
- 詳細は、トピックス参照

■ 今後に向けて

- dalchymiaの販売、開発体制の構築・強化
- スマートエネルギー、HEMS関連案件の獲得促進
- IoT関連協業パートナー獲得を推進



■ 分野概況

- 既存顧客より安定したロイヤルティ収益、サポート収益を獲得
 - 車載機器、産業機器、OA機器等の既存顧客を中心に獲得
 - ティアック社のハイレゾ対応ポータブルヘッドホンアンプ/プレイヤー[HA-P90 SD]への採用事例発表

■ 今後に向けて

- OA機器、産業機器に注力し安定収益の獲得を目指す
- IoT分野での適用可能性の検討継続



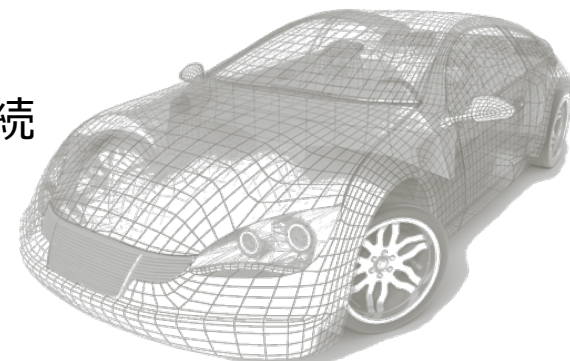
2015/10/8発表事例
ティアック社ハイレゾ対応ポータブルヘッドホンアンプ/プレイヤー
「HA-P90SD」

■ 分野概況

- 車載機器（カーナビ）関連中心に拡販中
 - 既存顧客の出荷好調を背景にロイヤルティ収益が安定、拡大傾向
 - カーナビ各社の多数に浸透、新規横展開獲得含め、製品化に向けた開発、評価が進行中
- 海外案件活発化、一部評価案件を獲得

■ 今後に向けて

- 既存顧客内での横展開、採用拡大と評価段階の顧客の確実な案件成立の加速
- 対応CPU、OSプラットフォームの拡大
- ミラクル・リナックス社を含めた協業の加速継続



トピックス

楽天社とのエネルギー関連サービスに関する 業務提携について

ユーザーに利便性の高い未来のスマートホーム
ソリューションの実現に向けて

- 最適なエネルギー関連サービスを提供できる企業向けプラットフォームの共同開発
- HEMS機器とクラウド間の通信規格の標準化等の共同検討

セキュアIoTプラットフォーム共同事業を開始

■ 「セキュアIoTプラットフォーム」の構築

- セキュアドローン協議会による実証実験と並行し、4社（エナジー・ソリューションズ社、サイバートラスト社、ソフトバンク・テクノロジー社及び当社）で安心、安全にIoTデータを扱えるプラットフォームを共同で構築
- 精密農業、オートモーティブ、ヘルスケア、人やモノの動態監視等での利用可能性を検討

■ 「ソーラーモジュール検査サービス」の事業化

- 「セキュアIoTプラットフォーム」関連事業の第一弾
- 検査コスト、検査の所要時間を大幅に圧縮可能



© 2015 Energy Solutions Inc.

Ubiquitous Silicon Valley Innovation Center (USIC)

- 2015年9月、以下を目的に、米国シリコンバレー地域に、IoTを含む先端技術のリサーチ拠点を開設
 - IoTを含む先端技術・ビジネスに関する調査・研究、情報収集、情報交換
 - 現地ベンチャー企業等との協業等を通じたIoT関連事業の成長加速・新規事業の創出
 - 当社製品の米国を含む海外での販売拡大に向けた活動（営業活動支援、パートナーアライアンス）

Appendix

平成28年 3 月期 第 2 四半期 開示一覧

発表日		プレスリリース
第2四半期	7月1日	■(お知らせ)ユビキタス社の高速起動ソリューション「QuickBoot」 JVCケンウッドの米国向けモニターレシーバー「DDX9902S」「DDX9702S」に採用
	7月29日	■有馬 仁志氏のコーポレートアドバイザー就任のお知らせ
	7月29日	■ユビキタス社の「Ubiquitous ECHONET Lite」がアットマークテクノ社のWi-SUN対応ゲートウェイ用ハードウェア「Armadillo-Box WS1」に対応 ～スマートメーター対応ゲートウェイの開発を大幅に短縮するソフトウェアとハードウェアの開発環境を実現～
	8月24日	■ユビキタス社「セキュアドローン協議会」の初年度成果発表に参加 ～ドローンの自動航行とクラウド連携に貢献～
	8月31日	■ユビキタス社、米国シリコンバレーに初の海外拠点を設立～IoT、先端技術の研究を対象に、9月14日に活動開始～
	9月28日	■人事のお知らせ
第3四半期 (参考)	10月5日	■楽天社とユビキタス社、エネルギー情報を活用したサービスのプラットフォーム共同開発に関する業務提携で合意
	10月8日	■ユビキタス社の組込みデータベース「DeviceSQL」～ティアックのハイレゾ対応ポータブルヘッドホンアンプ/プレーヤー「HA-P90SD」に採用～
	10月21日	■セキュアドローン協議会、ユビキタスを含む会員企業4社共同でドローンを活用したソーラーモジュール検査サービスの事業化を発表
	10月29日	■セキュアIoTプラットフォーム共同事業を開始～第1弾として、ソーラーモジュール検査サービスの実現に向け取り組みを本格化～

平成28年 3 月期 第 2 四半期 開示一覧

開示日		適時開示
第2四半期	7月1日	■ 行使価額修正条項付き第11回新株予約権（第三者割当て）の月間行使状況に関するお知らせ
	8月3日	■ 行使価額修正条項付き第11回新株予約権（第三者割当て）の月間行使状況に関するお知らせ
	9月1日	■ 行使価額修正条項付き第11回新株予約権（第三者割当て）の月間行使状況に関するお知らせ
第3四半期 (参考)	10月1日	■ 行使価額修正条項付き第11回新株予約権（第三者割当て）の月間行使状況に関するお知らせ
	11月2日	■ 行使価額修正条項付き第11回新株予約権（第三者割当て）の月間行使状況に関するお知らせ
	11月4日	■ 平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

(参考)セグメント変更について

IoT(Internet of Things:モノのインターネット) の市場の
顕在化に伴い、**機器側のネットワークソフトウェアからクラウドプラットフォームまで一体化したソリューションを提供**
できる事業体制に変更（平成28年3月期第1四半期より）

■旧セグメント

セグメント	分野
組込みソフトウェア事業	ネットワーク関連
	データベース関連
	高速起動関連
サービス事業	サービスプラットフォーム関連

■新セグメント

セグメント	分野
コネクティビティ事業	組込みネットワーク関連
	サービス&ソリューション関連
組込みソフトウェア事業	データベース関連
	高速起動関連

質疑応答概要

【Q1】

電力小売事業に参入事業者は当社のこういった強みに着目しているのか。

【A1】

電力小売自由化が始まると、参入事業者は差別化をはかるため、電力使用情報や節電情報等の付加価値サービスを提供しようとしています。そのためには機器をつなぐ通信技術が必要で、その分野は当社が以前から取り組んでおり技術的な優位性があります。もう1つは、事業者は顧客へ「電力見える化」サービスをあわせて提供することが多いですが、これも当社は数年前から自社製の「電力見える化」のクラウドサービスを持っており、経験・運用・技術を含め、高く評価されていると考えています。

【Q2】

これまでも、スマートホームというコンセプトが注目されつつも市場として発展しなかったように感じているが、近時は、何か違うという手ごたえを当社として感じているか。

【A2】

あくまで一企業としての当社の見解ですが、電力小売が自由化されることで、電力事業者がビジネスとして電力を売るだけでなく、電気+生活サービス、電気+通販サービス、ポイント付与等、電力に付加価値をつけて提供することで、長く使って頂けるユーザーを獲得し、サービス単価を上げていく等の新しいビジネスが生まれるものと考えています。当社は、その中で、サービスプラットフォームを提供することで当社も事業者から従量課金のビジネスが成り立つことを期待しています。

【Q3】

当第2四半期にロイヤルティ収入が増えた要因を伺いたい。

【A3】

1つは、高速起動・データベースで昨年以前からの既存顧客の製品の出荷数が予想以上に好調であったことが大きい要因です。当社が注力している車載機器とスマートエネルギー関連の市場自体が活性化していると感じています。もう1つは、ロイヤルティを前払いの形で頂いている顧客がありますが、その顧客のロイヤルティ支払の周期が当第2四半期に訪れたことが要因です。

質疑応答概要

【Q4】

シリコンバレーのリサーチ拠点開設したことによるコスト増はどのくらいか。

【A4】

スモールスタートであり、大きなコスト増は見込んでおりません。

【Q5】

当期の着地については先行投資費用もあり若干赤字が残るのではないかと見ているが、現時点での見通しはどうか。

【A5】

今はコメントは難しい面がありますが、通期の着地の見通しは、計画通り推移できれば何とか目標を達成できるのではないかと考え、日々努力しております。

【Q6】

当期着地についての懸念材料は何か。

【A6】

顧客の景気動向に当社のライセンス収入はかなり左右されます。自動車関係では、直近では某ドイツの自動車メーカー問題等当社でコントロールできない外的要因は少し気にかかっています。また、スマートエネルギー関連では、国の法律も含めて、事業者だけではなく節電にかかわるスマート関連機器メーカーの動きも活況ではありますが、一方、新しい市場のため、予測困難な面もあり、引き続き、ビジネスチャンスを見逃さないように策を立て、実行し目標達成に努めていきます。



Ubiquitous

株式会社ユビキタス Ubiquitous Corporation

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-21-1 明宝ビル6F TEL : 03-5908-3451 FAX : 03-5908-3452